

# EA162SR(エアーマルチグラインダーセット)取扱説明書

Ver1.1

この度は当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

## ◆仕様

- 全長…280mm
- 使用圧力…0.63MPa
- 回転数…4,090rpm
- 使用コンプレッサー…2.2kw
- 使用エアホース内径…8mm
- ハンドルは180°回転します。
- 重量…本体:1.2kg、総重量(ケース含):3.13kg
- エア消費量…102L/min
- 吸入口…Rc(PT)1/4”(プラグ付き)
- ケースサイズ…450(W)×110(D)×350(H)mm
- 三軸合成値…0.8m/s<sup>2</sup> ISO22867
- 騒音値…79db(A) ISO15744

## ◆用途 ・錆落とし、研磨等に。

## ◆付属品

ストリッピングホイール×1個、ラバーイレーサー×1個、  
スチールワイヤーホイール(下記3種各1点)  
:0.5mmベンド、0.5mmストレート、0.7mmベンド  
アダプター×1個、六角レンチ(5mm)

## ◆各部名称

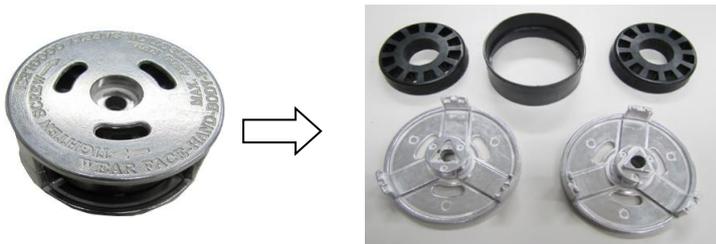


## ◆サイドハンドルの取り付け

右図の位置にサイドハンドルを取付けて下さい。  
時計方向に回すと固定されます。  
また、サイドハンドルは180°回転します。



## ◆アダプターとワイヤーホイールの取り付け方法



## ◆ ホイールの取り付け



①ホイールを本体の軸に差し込みます。



②付属の六角レンチを使用し、時計方向に回してクランプボルトでホイールを固定して下さい。

## ◆ 回転数調整方法

回転数調整ねじを回して回転数を調整することができます。  
時計回りに回すと高速、  
反時計回りに回すと低速となります。



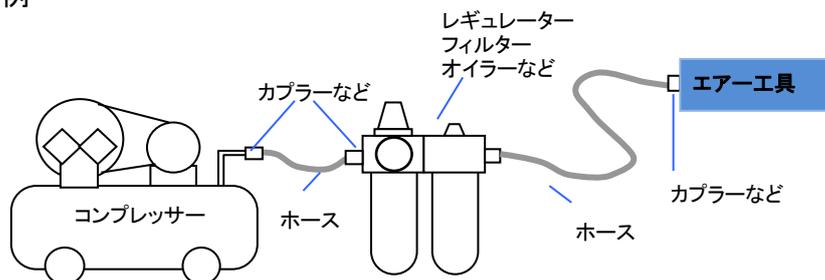
## ◆ 使用方法

エアーツールのON/OFFはグリップ部のスイッチによって行います。  
スイッチのバーを押さえ、スイッチレバーを握りこみます。  
スイッチを握り込んでいる間は、ツールが作動します。停止はスイッチを離してから数秒かかります。安全の為にツールが完全に停止した後で収納場所に置いて下さい。

## ■ 操作方法

- ・圧力…0.63MPa前後で使用して下さい。高すぎると能力はアップしますが、寿命を縮めます。低すぎると能力は低下します。
- ・エア…コンプレッサー、配管内のごみや水分を除去する為、フィルター、ドレン等を取り付けて下さい。ごみが内部に入ると故障の原因となり、水分が入ると錆の原因になります。
- ・給油…工具を接続する前にスピンドルオイル(ISO VG 10くらい)を接続口から4~5滴垂らして下さい。粘度の高いオイルを注しますと、機能が十分発揮されなくなりますので、もし、誤って粘度の高いオイルを注した時は、洗い流して適正オイルを注して下さい。3~4時間の作業毎にオイルを注すと、工具が長持ちします。

## ● 取付け例



## ■ 騒音について

ご使用中、周囲に迷惑を掛けないよう、各都道府県で定める騒音規制値以下で使用して下さい。  
必要に応じて、防音壁等で遮音処置をとって下さい。



### 安全上の注意

- 事故、けが等を未然に防ぐ為に、御使用前に必ず読み、理解し、厳守して下さい。
- 作業場、作業台は常に整理整頓して下さい。  
散らかった場所での作業は、事故のもとです。
- 作業場の照明は、十分明るくして下さい。
- 作業場には子供を近づけないで下さい。
- 無理な使い方はしないで下さい。  
作業に合ったエアーツールを使用して下さい。工具の能力と作業に合う速度で加工して下さい。  
ホイールは摩耗しますので、必要に応じて交換して下さい。
- 作業時は、作業に合った服装をして下さい。  
だぶついた作業着、ネクタイ、ネックレス等の装身具類は、回転部に巻き込まれます。  
長い髪も危険ですので帽子を被る等して下さい。  
手袋を使用する時は、巻き込まれない物で滑らない手袋を着用して下さい。
- 作業時は、保護メガネを必ず着用して下さい。粉塵の多い場所では、防塵用ゴーグル、防塵用マスクを着用して下さい。
- 加工物をしっかりと固定し、両手で工具を使用して下さい。手で加工物を保持すると危険です。
- 作業工具は注意深く手入れをして下さい。  
エアースーツ、接続部、スイッチ等は損傷していないか、その他定期的に点検して下さい。  
握り部、スイッチは常に乾かし、きれいな状態を保って下さい。
- 次の場合はスイッチを切り、エアースーツを外して下さい。
  - ①ホイールを取り付ける時、交換する時
  - ②作業終了時
  - ③異常を感じた時
- エアーツールを運ぶ時は、エアースーツを外して下さい。  
不用意にスイッチが入ることがあり、危険です。
- エアーツールを使用する時は、取り扱い方法、作業方法、周りの状況を十分把握して、慎重に作業して下さい。
- 作業前に、可動部の位置、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に損傷や異常がないか、必ず点検して下さい。異常があれば、使用を中止して下さい。



改造はしないでください。

- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業工程に支障を来す場合があります。

## ・振動工具の三軸合成値について

仕様欄に数値を記載しています。

日振動ばく露量A(8)は、厚生労働省の下記サイトで求めることができます。

<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/090820-2a.pdf>

## 株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3丁目8番14号  
TEL(06)6532-6226 FAX(06)6541-0929

24.Nov.